

( 仮題 ウチのサキュバスがご迷惑おかけしました！

ヒロイン サキュバス リン

想定人間年齢 17歳

間違えて、契約外の男の部屋に行ってしまい、

そこから物語がはじまります（）

【生意気だけど憎めない、かわいいドジっ子サキュバスちゃんです。

基本、高音、明るく元気なキャラでお願いします。

エッチなシーンは、状況をみて、小悪魔的に、色っぽくお願ひします【】

遅くなつちやつたー。

居るうー？ って、誰もいないな……。

つて、居た！

もう！ びっくりするなあ、急に出てくるんだもん……。

っていうか、あんた、誰……？

もしかして、変身してるの？

してない？

君は誰つて？

あたし？ リンだよ。

10時に約束してたじやない。っていうか、もう夜中の12時か……。  
まあ、そんなこと、どうでもいいや。

えつ？ 人違ひじやないかって？

【← 低音で、格好つけた感じで】

無礼な。こう見えて、淫魔サキュバス族の端くれよ。  
はし

人違ひなどするはずが……。

【→ ここまで】

えつ？ 512号室？ 412号室じやないの？

タハーッ。

間違えたー！

ていうか、部屋のカギ、ちゃんとかけてなかつた君も悪いよね。

そうだよね。

まあ、わかればいいんだけどさ。

ねえ、喉、乾いちゃつた。なにか飲み物、ある?

うん。いいよ。コーラで。

サンキュー。

ゴクゴク……。

あー、生き返ったあ。

しかし、言っちゃ悪いけど、むさ苦しい部屋だねえ。

412号室も、同じようなもんだけさ。

布団、たまに干したほうがいいよ。なんだか、湿ってるし。

えっ? あたし?

だから、サキュバスのリンだよ。

この外観見ればわかるでしょ。

今日はハロウインじゃないよって?

もう。コスプレだと思つてんの? 違うわよ。

この羽、普段はこの大きさだけど、飛ぶとき大きくなるんだよ。ほら。

ねつ。部屋いっぱいに、こんなに広がるんだから。

何? 最近のコスプレは、よく出来てるなあ、って?

【←怒った感じの、キーフ! です】

キー!

【→ ここまで】

君、うたがい深さ、偏差値80だね。

この堅物を、どう信じさせたらいいものか……。

そうだ。この、しっぽなんてどう？

人間に、こんなの、ついてないでしよう？

ほら、動くよ、こんなに動いちやうんだよ。

プレイのとき、大活躍するんだから。

どお？ ワクワクするでしょ。

ゾクゾクするでしょ？

これで、おちんちん、ツンツンしちやうぞ！

もう、どうして避けるのよ。

JJK相手に、そんなことしたら、淫行になるって？

えーっ。そんの、なるばずないじやん。

見かけはJJKかもしれないけど、なんならあたし、200歳超えてるから。

年上は、敬<sup>うやま</sup>うものよ。

コーラ飲んだら帰ってくれって？

帰らないわよ。

せつかく来たんだから、帰んないよっ！

契約書にサイン書いてもらうまで、帰りませんっ！

なんだ、新手の押し売りかって？

【←怒った感じの、ムキーっ！ です】

ムキーっ！

【→ ここまで】

君ねえ、淫魔サキュバス様を愚弄するとは、  
時ときが時ときなら……。

あつ、ごめん。興奮してコーラの缶、握り潰しちやつた。  
えつ？ これってスチール缶なの？ それって、硬いの？

よくわからないけど、あたしの握力、軽く500はあるからね。

人間界にあるものは、華奢なもんばかりで、まったく、気つか一遣ううわ。  
もう、そんなに、びっくりしないでよ。

君には、ちゃんと優しくするから、安心して。

ほんとにサキュバスなんだ、つて？

やつと信じてくれた？

そうだよ。サキュバス、サキュバス。

正真正銘のサキュバス。大事なことだから、3回言つたよ。

やつと昇格したばかりの新人だけどね……。

というわけで、契約しましょ。

あたしと契りを交わすかわりに、その代償をもらう契約。  
お金なんかないって？

そんな下賤なもの、このあたしが求めるはずないでしょ。

あたしが求めるのは、君の精液と、寿命三日分ね。

これって、正直言つて、大バーゲンだよ。

位の高いサキュバスなんて、一回で寿命一年分も取っちゃう子もいるんだから。

見たところ、君の寿命は、九十年はあるわね。

寿命なんて、ちょっとしたストレスで三日ぐらいすぐ減っちゃうんだから、

どれだけお得か、わかるでしょ？

どお？ その気になつてきた？

つていうか、もうなつてるよね。

前の部分、もつこりしてるよ。

この部屋、あたしの匂い、すっかり充满してきたしね。

すごく、いい匂いでしよう？

わたしのあそこ、いつも濡れっぱなしだから、その匂いだよ。

この匂いって、人間でいえば、思春期の女の子のフェロモンを濃縮して、

それに、汗とおしつこと麝香<sup>じやこう</sup>の香りを混ぜた匂いなんだって。

この匂いを嗅いだだけで、精液、お漏らししゃつた子もいるんだよ。

フフフっ……。

どれ、見せてごらん。君のペニス。

恥ずかしがらなくて、いいの。

ほら、パンツ、下ろして……。

あれー。君も、お漏らし、しちゃったのー。

パンツに白いヌルヌルしたの、ついちゃってるじゃない。

もう、しようがないな。

もつたいないから、ちょっと、おちんちん、咥えちゃうね。

【 ← おいしそうに吸ってる音でお願いします】

はむつ、じゅ、じゅるじゅる、チュー、チュー。

【 → ここまで】

はあ、はあ……。

君の精液、すごく、濃いよー。

この調子なら、あと2発は、いけるかな。

フフフつ……。

さあ、全部、脱いで。あたしも、脱ぐから。

もう……。

女の子が脱いでるところ、そんなに、まじまじ見ないでよ。

えっ？ 本当に、200歳超えてるのかって？

本物のJKみたい、つて？

まあ、サキュバスって、千年以上、現役って子もいるからね。

あたしは、まだまだヒヨツコだから、

人間の歳でいつたら、まあ、JKぐらいなのかなあ。

つて、そんなこと、どうでもいいや。

全部、脱いだね。

ちゃんと、真っ直ぐ、立つてごらん。

おちんちん、ビンビンだね。

さつき、お漏らししたばつかりなのに、

こんなにお腹なかにつくまで、勃起しちゃって。

フフフつ……。

いやだ。そんなに、あたしのおっぱい、見ないでよ。

まあ、見ちゃうのも、しようがないか。

あたし、おっぱいの形には、ちょっと自信あるんだ。

おっぱいって、大きさだけじゃなくて、大事なのは、張りと、角度じゃない？

君も、そう思うでしょ？

肌も白くて、スベスベだよ。

乳輪もピンクだし、乳首も、ツンツンって尖つてて……。

つて、自分で言つてて、興奮してきちゃつた……。

エツチなお汁、太ももまで垂れちゃつたよ。ほら……。

見たい？

あたしの、あそこ……。

フフフっ……。

どうしようかな。

その前に、もう少し、君のからだで遊ばせてもらつてからかな。

そこに寝てみて。

そう。いい子ね。

あたし、こうやって、上から見下ろすのって、好きなんだよね。

男の子の表情が、なんだか怯えてるっていうか、何されるんだろうって、

オドオドしてる感じが、すごく好きなんだよね。

フフフっ……。

見えてきたぞ。君、ズバリ、足フェチでしょ。

足で、いろんなところ踏まれたり、スリスリされたりしたいんでしょ。  
かわいい女の子の蒸れたつま先、チュパチュパ舐めまわしたり  
そんなこと、したいんでしょ。

変態さんだね。

では、その夢、このサキュバス、リンさまが叶えて差し上げましょ  
う。あたし、変態さん、大好物だしね。

フフフっ……。

さてと。どこを、もてあそ弄んでほしいのかなあ？

乳首なんか、どお？

ほら。ここだよ。この、ツンツン勃起しちやつたところ。

フフフっ……。

エッチな声、出ちゃつたね。

やつぱりここ、感じるんだ……。

敏感乳首。こうやって、つま先で、挟んじやつたりして……。

フフフっ……。

声、止まらなくなっちゃつたねえ。

あたしね、足の指、すごく器用に動くんだよ。

ほら、こんなふうに乳首つまんで、クリクリ、グリグリ。

アハハツ！

おちんちん、ビック、ビクじゃない。

ほんとに好きなんだね。こういうの。

指で、挟んで、クリクリして、つま先、こすりつけて、  
クリクリして……。

乳首、すごく充血してるよ。

もう……。女の子みたい。

こっちの乳首も、ほら、どお？

唾、垂らして、もつとヌルヌルっていうのはどうかな。

ん、ん、んっ……。

はあ……。

フフフっ……。

いやらしいね。

乳首、あたしの唾液にまみれて、ヌメヌメって光ってるよ。

塗りたくって欲しいんでしょ。こうやって、足で……。

気持ちいいの？

ああ……。

あたしまで、感じてきちゃつた……。

だつて、すごく、いやらしいんだもん。

甘酸っぱい足の匂いと、唾液の匂いが、混じり合つて、

ああ……。いやらしい……。

興奮しちゃうよね。感じちゃうよね。

匂いで、イツちやいそうでしよう?

ほらあ、クチュクチュ鳴つてるよ。

足を、速く動かしたら、ほら、こんなに、クチュクチュつて。

足、舐めたいの?

いいよ。

ほら、舐めて。指の今まで、ちゃんと、きれいに舐めるのよ。

おいしいの?

君、ほんと、おいしそうに舐めてくれるね。

もう、好きになっちゃうよ。

ああ……。

気持ちいい……。

あたし、足の指のあいだ、感じちゃうの……。

ああ……。小指のすきま、そこ舐められると、  
なんだか切なくなつちやう……。

はうん……。はあ、はあ、感じちやう……。

もつと舐めて……。

でも、ああ……だめ……。

それ以上舐められたら、あたし、立つていられなくなつちやう……。

君のおちんちん、踏んであげなきやね……。

こういうの、どうかな?

足の裏、竿に乗せて、つま先で、亀頭を、コチヨコチヨ。

ほーら。気持ちいいでしょ。

唾液、垂らしてあげるね。

ん……んん、んんつ……。

はあ……。

あーあ。おちんちん、ヌルヌルになつちやつた。

ほうら、足、動かしたら……。

ぬーる、ぬーる……。

うわあ、亀頭、ヌメヌメ光って、いやらしい。

すごく硬いよ。

踏んでも、ほら、跳ね返してくる。

裏筋とか、どうかな？

ここを、親指の先で、フニフニしたり……。

わあ、亀頭、パンパンだよ。

全身、そんなに力入れちゃってえ。

なにフルブルしてるの？

どうして、そんなに汗かいてるの？

泣いたって、許してあげないよ。

ほら、こうやつて、足、小刻みに動かすつてのは、どうかな？

電気アンマだよ。ほら。ほら。ほら。

えつ？ イツちやいそうなの？

あつ、すごく硬い！

まだイツちや、だめだよ。

まだ、あつ！ ああつ！

ピュピュつて……。

あーあ。イツちやつた……。

まあ、あたしの足でしごかれたんだから、しようないか。

ちよつと待つてね。おちんちん、吸わせて……。

【 ← おいしそうに吸つてる音 】

チュルチュル、ジユル、チュウチュウ……。

【 → ここまで 】

はあ、おいしい……。

まわりに飛び散っちゃったのも、ナメナメさせてね。

【 ← ペロペロは、舐めてる音でお願いします 】

ペロペロ、ペロペロ。

お腹も、胸、も……。

ペロペロ、ペロペロ。

【 → ここまで 】

はあはあ……。

こうやって、抱き合つてのもの、いいね。

君の胸と、あたしのおっぱい、密着して……。

あつたかいよ……。

こうやって、見つめ合つてると、なんだか恋人同士みたいだね。

フフフつ……。

あたしの目、見て……。

吸い込まれちゃうそう？

君の瞳に、あたしが映ってるよ。

かわいいけど、いやらしい顔だよね。あたしって……。

キスして、あげる……。

ん、ん……。う、うつ、んん、んん……。

そういうえば、これが、君との初キッスだね……？

いっぱい、激しいこと、しちやつたのに。

フフフつ……。

どお？ キスの味は……。

ところけちやうそう？

えっ？ キス、初体験なの？

あたしが、はじめての人？

うれしいな。でも、あたし、人間じゃなくて、悪魔だけどね。

フフフつ……。

もつと、気持ちよくしてあげるよ。

情熱的なキスは、好き？

「ういうの……。

【 ← ディープキス音 】

ん、ん……。クチュ、クチュ、う、うつ、

ジユ、ジユルジユル、ハアン、んん、んん……。

あたしの舌で、君の中、犯してあげる……。

ん、ん……。クチュ、クチュ、う、うつ、

ジユ、ジユルジユル、ハアン、んん、んん……。

【 → ここまで 】

はあ、はあ……。

あたしの唾液、もつと、飲んで……。

すぐに、飲み込んじや、ダメだよ……。

ゆっくり、お口の中で、転がしてから、だよ……。

フフフ……。

甘いでしよう？ ところけちやうでしょ……。

あたしの唾液、媚薬だから……。

あたしの唾液、君のからだの中に入つて、血液で運ばれて……。

感じるでしよう？ あたしのフェロモンが、

君の全身の細胞のひとつひとつに、しみ渡っていくんだよ。

ほら、もつと飲んで……。

あたしの唾液。

君はもう、あたしのこと、忘れられないよ。

君のからだは、あたしじやなきや、もう満足できないよ。

【 ← いやらしく、舌を動かす感じで 】

チュツ、ちゅぱ、ちゅぱ、じゅる、じゅる……。

【 → ここまで 】

どお？ あたしの舌。君の口の中、犯してるんだよ……。

気持ちいいでしょう？

あたし、舌、長いから。

あたし、おっぱいも自慢だけど、舌の長さも、自慢なんだ。

フフフっ……。

この舌で、君のからだ、もつと犯してあげようか。

首筋から、乳首……。

唾液の軌跡を残して……。

おへそを舐めて……。

ああ……。

おちんちん、もうこんなに勃つてる。

血管が浮き出て、亀頭、パンパンに張っちゃって、  
男臭い匂いムンムン発して、先端から、涙、流して……。

【 ← いやらしく、吸ってる音 】

じゅるじゅる……。

ああ……。おいしい……。

じゅるじゅる……。じゅるじゅる……。

【 → ここまで 】

あたしの舌、気持ちいいでしょ？

亀頭にグルグル巻きついて、こんなふうにニュルニュルすることも  
できるんだよ。

ほら……。

【 ← 触手がからみついてネチョネチョする音 】

チュルチュル、チュルチュル、ずずつ、ネチョ、チュルチュル。

【 → ここまで 】

ねつ。サキュバス リンの、奥義その一。

亀頭舐めまわし大蛇地獄。

すごいでしょ。

気持ちよすぎて、亀頭、とろけちゃいそうでしょ。  
でも、まだ、イッちゃ、ダメだよ。

我慢汁、もっと、いっぱい出してごらん。

あたし、この味も、好きなんだ。

ほら、こうして、おしつこの穴も、ニユルニユルって……。

あつ、イッちゃいそう。イッちゃいそうなの？

残念でした、まだイカせませーん。

フフフっ……。

わあ、我慢汁、いっぱい出てきた。

【 ← 触手がからみついてネチヨネチヨする音 】

チュルチュル、チュルチュル、ずずつ、ネチヨ、チュルチュル。

【 → ここまで 】

はあ、おいしい……。

どうしたの？ 切ない顔して。

イキたいの？

そなんだ。イキたいんだ。

でも、まだダメなんだなあ。

ほら、口開けて。あたしの唾液あげるから、もう少し、我慢しなさい。

フフフっ……。

君つてさあ、やっぱり、Mだよね。

えつ？ 違うの？

そうかなあ。

じゃあさ、君がほんとにMじゃないかどうか、試してみようか。  
君、アナル、感じるかな。Mじゃないなら、アナルなんて、  
感じないはずだよね。

フフフっ……。

ほら、足、広げてごらん。

逆らわないで。もつと大きく広げるの。

ここ、君の、お尻の穴。フフフっ……。触っちゃったよ。

なにびっくりした顔してるの？

指じやないよ。

これ、あたしのしつぽ。

さつき見たでしょう？ あたし、しつぽも自由に動かせるからね。

それに、先っぽ、自由に形を変えることもできるんだよ。

ほら、先っぽ尖らせて、アナル、ツンツンしたら、

入っちやいそうでしょ？

フフフつ……。

大丈夫。痛くしないから。

わかる？ ヌルヌルしてるの。

しつぽの先から、あたしの愛液、出てるんだよ。

ほら、もう、ヌルヌル……。

ちよっと、押し込んだだけで……。

あつ、入っちやうよ……。

君、アナル、はじめて？

そつか。じやあ、処女喪失だね。

ほら、入っちやうよ。

あつ、先端、締めつけてる。

あつ、気持ちいい……。

あたしのしつぽ、アンテナみたいに、敏感なの……。

あつ、感じちやう。

あつ、お尻の穴、あたしのしつぽ、締めつけてる。

君も、感じるでしょ。

ほら……。

入り口、ゆっくり、もみほぐして……。

あたしの、愛液、中にも、外にも、いっぱい、垂らして……。

ほうら。やわらかくなってきたよ。

こんなふうに、出し入れしても……。

もう、痛くないでしよう?

ほら、ここ、君の前立腺……。

ここを、グリグリしたら……。

どうしたの? 涙ぐんじやつて。

そんなかわいい顔したって、許してあげないよ。

前立腺って、精子を作る場所なんだよ。そこを内側から、グリグリしたら、  
フフフっ……。

なんか、出てきそうな感じがするでしょ?

ほら、どう? こんなふうに、出し入れしたら。

ダメだよ。泣き声出したって、やめないよ。

おかしくなりそう?

やめて欲しいの?

どうしようかな。

だつたら、おちんちんの先から潮吹いたら、許してあげる。

潮、吹いたことないの？

そうなんだ。

じゃあ、初体験させてあげるよ。

ディープキスしながら、前立腺をお尻の中から責め立てる、

サキュバス、リンの、奥義その二。

秘儀、ゼンリツセンセツ前立腺切磋琢磨サタクマつ。

【 ← 触手がからみついてネチヨネチヨする音 】

チュルチュル、チュルチュル、ずずつ、ネチヨ、チュルチュル。

【 → ここまで 】

すごい、中がウネウネ波打つてるよ。

お尻の穴が、キュッキュッて締まつて……。

女の子みたいだよ。君のここ。

そうだ。女の子になつちやいなよ。

ほら、もつとあえいでごらん。

どお？ おまんこ、奥まで犯されちゃつてるよ。

あたしのおちんちんに、こんなにピストンされてるよ。

いやらしいおまんこ……。こんなにグチヨグチヨにしちゃつて……。

ああ、かわいい……。

ほら、もっと口開けて。あたしの唾液、いっぱい、飲んで……。

### 【 ← デイ一ープキス音 】

チュルチュル、クチュクチュ、ずずつ、ネチヨネチヨ、チュルチュル。  
チュルチュル、ジュツ、ジュツ、ジユパジユパ、ジユルジユル……。

### 【 → ここまで 】

あっ、先っぽから、ピュツて出たよ。

ああ……。やらしい……。

潮吹いちやつたの？

あっ、また、ピュピュツて。

潮吹くとこ、お顔、見せて。

ちゃんと、あたしの目を見るんだよ。

ああ……。切なそうな顔しちやつて……。

イクときの、女の子の顔だよ。

ほら、もつと前立腺、こすってあげる。

ほら、気持ちいいね……。

クリトリス、ヒクヒクしてるよ。

イツちやうの？

だつたら、あたし、イツちやうーつて、言つてごらん。

そう。かわいいよ。もつと、声出して。

あたしも、イツちやいそう。

あつ、あつ……。

しつぽの先から、あつ、あつ、出ちやうつ、出ちやう、

リン、エッチなお汁、ピュッピュしちやうつーーー！

【この辺から、ラストに向かいますので、少しづつボルテージを

上げて、サキュバス、リンちゃんに絶頂を迎えさせてあげてください】

はあはあ……。

あたしも君の中に、発射しちやつた……。

でも、すごい潮吹きだつたね。

やつぱり君、Mの才能あるよ。M男の正統伝承者だよ。

フフフつ……。

じやあ、そろそろ、舐めさせてあげようかな。あたしのあそこ。

うれしそうな顔、しちやつてえー。

目、キラキラじゃん。いまどき少女漫画だつて、

そんなにキラキラしてないよ。

どんなポーズで、舐めてもらおうかなあ。

正常位がいいかな。後背位がいいかな。

なんて言いながら、君の顔の上、またいじやつた。

見える？

見えるよね。こんなに近いんだもん。

きれい？

そうでしょ。あたし、からだの中で、実は、おまんこが一番自信あるんだ。

真珠みたいなピンク色でしょ。小陰唇も、薄いフリルみたいで、

きれいでしょ。

匂いは、すごくいやらしいけど……。

フフフ……。

ああっ……。見られてるだけで、垂れてきちゃう……。

ぱっくり開いてるから、恥ずかしいな……。

そりや、あたしだって、恥ずかしいよ。

だつて……、サキュバスだつて、女の子なんだよ。

こんななかつこうで、おまんこ、じつと見られたら、恥ずかしいよ。

でも、感じちやうんだよね……。

それにさ、君の視線、すごく、熱いんだもん……。

ねえ、早く、舐めてよ……。

見つめられてるだけなんて、あたし、変になっちゃうよ……。

そう……。そこ、あつ、あつ、

き、気持ちいい——！

お口つけて、ちゃんと、吸つて……。

あたしの花びら、プルプルしてっ！

ああ……。

気持ちいい……！

どお？ リンのお汁の味。

あつたかくて、ヌメヌメしてて、フルーティーで、  
少し、おしつこの匂いがして、すごくおいしい？  
よかつたね。全部、飲んでいいよ。

どんどん、あふれてきちゃうから……。

ああつ……。

いやらしい匂い……。

あたし、いつもより感じちゃってる。

だつて、止まらないんだもん。

トロトロって、中からあふれてきちゃうんだもん……。

君の顔、ビショビショだね……。

あたしの愛液にまみれて……。

愛おしいね、君……。

あつ……！

クリトリス、感じちゃうつ！

そこ、唇ではさんで！

もつと吸って！ 舌で、ペロペロして！ もつと強く。

そう、そうよ。

ああっ、クリトリス、すごく勃起してるの！

皮剥けて、むき出しになつて、

あつ！ あつ！ そこ、そんなにしゃぶられたら、  
感じちゃうつてつ！

うぐつ、うぐつ、うつ、うつ……。

うつ、はうつ、はうつ、あうつ、

あつ、あつ、あつ、あ―――！

はあ、はあ、はあ……。

ほら、わたし、イツちやつたじやない……。

あそこの穴、ヒクヒクしちやつたじやない……。

もう、あたしが先にイカせようと思ったのに……。

こうなつたら、全部、搾りとつちやうわよ。

君、騎乗位って、知ってるでしょ？

そう、女の子が上になつて、ここに、こうやつて……。

見て……。亀頭の先、あたしの唇と、キスしてるよ。

どつちも、ヌルヌルだから、少し、腰を沈めただけで、

ほら、入っちやう、あつ、入っちやうつ、

ああつ……！

入っちやつた……。

はあ、はあ、はあ……。

感じる……？

あたしの中、ウネウネ、動いてるの……。

入口だつて、ほら、おちんちん、キュキュつて絞めたり、甘噛みしたり、

いろんなこと、できちやうんだよ。

ああ……気持ちいい……。

亀頭の形が、あたしのサイズに、ぴったり、合つてる。

奥のヒダヒダが密着して、こすれちゃうの。

ああ、気持ちいい！

見える？ つながってるここ。よく見えちゃうよね。パイパンだもん。  
ほら、出たり、入つたり……。

エツチな唇、しつかり、咥えこんでるでしょ？

ぱっくり、開いちゃつてるでしょ？

すごくグチュグチュ鳴つてる。

ああ……。愛液出ちやうー。おしつこも、ピュピュって出ちやう。

だって、我慢できないんだもん。

だって、気持ちいいんだもん。

君も、気持ちいいでしょ？

乳首も触つてあげるね。

両方の乳首、指先で、クリクリつて……。

そんなに悶えちゃつて。

ダメだよう、おちんちん、暴れさせちゃあ。感じすぎちゃうからあ！  
ねえ、あたしの乳首も触つて……。

あたしの乳首も、勃起しちゃつてるでしょ……。

ほら、こんなに尖っちやつてるんだよ。

もう……。リンをこんなに興奮させて……。

君って、悪いひとだよね……。

ああっ！ ち、乳首、感じるつー！

そう！ つまんで、クリクリつてして！

ああっ！ 感じちゃうつ！

あたしの中、ウネウネしちゃう！

おちんちん、こすれてる！

気持ちいいつ！

あたし、サキュバスなのに……。

こんなに感じちゃつて……。

【 この辺からラストの盛り上がりとなります。】

リンちゃんの絶叫を交えてお願ひします

ああっ、おちんちん、こすれてるつー！

ダメ、ダメ、イッちやうから……。

本気でイッちやうから、

あつ、あつ、こすれてる、亀頭、奥にあたってる、あつ、あつ、

すごい、ああつ！ ああつ！ もつと、もつとお！

ああ……こうなつたら、見せてあげる。

サキュバスリンの、相打ち覚悟の最終奥義、

淫魔昇天いんましょうてんつ！！

どお！ この、おまんこの動きつ！

おちんちん締めつけて、千のミニズでウネウネするよ！

ほら、ほら、ほらつ―――！

イキなさいつ！

全部、放つの！

全部、あたしの中に、ぶちまけるの！

ああつ！ すごい！

おちんちんの動きに合わせて、

あたしの中、ウネウネしてるつ！

あつ、あつ、ああつーーー！

感じすぎちやう！

この奥義、危険すぎつ！

ああつ、だめつ！

変になつちやうつ！

リンのからだ、変になつちやう！

あうーつ！

ああっ！ エツチなお汁、飛び散つちやうう！

ああ！ だめ！ 止まらないの！

ああっ、ピュッピュしちやう！

ああっ！

君も、ピュッピュして！

あたしの中に、ピュッピュして！

ああっ！

イクッ！

いつやう！

ああつ——！

リン、イツちやうーーつ！

【ここからは、ゆつくりとした、

愛らしく、やさしい口調でお願いします】

すごく気持ちよかつたよ。

あたし、本気でイッちやつた……。

そういうえばちゃんと契約かわすの、忘れてたつ！

まあ、いいか。気持ちよかつたから。

あたしと会いたくなつたら、また、いつでも呼んでね。  
いつでも、君の精液、搾りとつてあげるから。

フフフ……。

じゃあ、またね！

【おわり】

【 どうもありがとうございました！ 】

---